The Panasonic Report

for Global Corporate Citizenship Activities

松下電器グループの企業市民としての社会貢献活動レポート

Panasonic

ideas for life

「育成と共生」を理念に
「子ども」「環境」「福祉」を重点分野として
グローバルな企業市民活動に
取り組んでいます

2007年8月　松下電器産業株式会社　社長

大坪文雄

松下電器グループは創業以来、世界中の皆さまの生活をより豊かにし、世界文化の進展に寄与することを経営理念として事業を進めてきました。そして現在、事業ビジョンとして、最先端技術で「ユビキタスネットワーク社会の実現」と「人類と地球環境との共存」に貢献することを掲げ、事業を展開しております。

21 世紀に入って以降、地球規模での環境破壊や絶え間ない民族間紛争など、世界を取り巻く諸問題は拡大の様相が続いています。国内に目を転じれば、子どもを取り巻くさまざまな問題は深刻さを増し、高齢化社会の進展に伴う問題も徐々に表面化するなど、日本の社会が固有に抱えている課題も少なくありません。企業は、これらの課題解決に向けて、事業活動を通じた貢献に加え、企業市民として、より幅広い分野での社会貢献活動に取り組むことが求められてきております。

Panasonic
ideas for life

このような現状認識のもと、松下電器グループは「育成と共生」を行動理念に、「子ども」「環境」「福祉」の3つを重点分野として、継続性のある企業市民活動に取り組んでいます。さらに、一企業として取り組むだけでなく、NPOやNGOとの協働や、社員一人ひとりのボランティア活動への支援なども積極的に進めております。

今後、益々、企業は社会の一員としての活動が問われる時代に入ってまいります。私たち松下電器グループは多くのステークホルダーの皆さまと協力し合い、さらにより良い社会の実現に向けて微力ながら着実に貢献してまいりたいと思います。

最後になりましたが、日ごろからご支援を賜っております皆さまに感謝いたしますとともに、引き続きご支援、ご理解をお願い申し上げます。

◀ ▼ 写真はパナソニックスカラシップ奨学生との懇談風景

中心となる
3つの取り組み

子ども

環境

福祉

Close Up

楽しみながら学ぶ、子どものためのプログラム

子どもの夢と未来を育む「キッズスクール」

「パナソニック キッズスクール」では、子どもが輝けば、未来が輝く、をコンセプトに子どもたちの夢や未来の可能性を応援する、参加型のイベントを全国で展開しています。

子どもたちが幅広い興味と関心を持てるよう、スポーツ、カルチャーなどの5つの分野で、多彩なプログラムを用意。プロのスポーツ選手に教えてもらったり、面白い実験で科学の不思議を学んだり、自分が住む町の自然や歴史を調べてインターネットで発表したりする場を提供しています。子どもたち自らが考え、体を動かし、発言しながら、科学の不思議や物づくりの楽しさを学ぶことができます。

「クレイアニメデジタルワークショップ」では、粘土で作るアニメーションに挑戦。その作品が、画面の中で動きます。

子ども

次世代を担う子どもたちを育成・支援するさまざまな活動を、世界各地で展開しています。

キッド・ウィットネス・ニュース・プログラム（KWN）

主催、社員参画　世界各国

小学校から高校までの子どもたちが、課外活動や授業の一環としてビデオ制作に取り組む教育支援プログラム。これまでに世界で8万人以上の子どもたちが参加し、ニュースやドラマなど、毎年多くのユニークな作品が生まれています。

リスーピアにて行うワークショップ。自分の手で触れるからこそ刺激的です。

3階にあるウェブハーモナイザーは、音の変化をカタチにして見ることができます。

「リスーピア」は理数の楽園 発見・体験で、楽しく学ぶ

「リスーピア」は、パナソニックセンター東京内にある理科と数学（算数）をテーマとした体験型展示施設です。子どもたちは理科の面白さや驚き、数学の美しさや不思議に触れて、理数への興味が広がります。

小学生高学年から中学生がたくさん訪れる「リスーピア」には、2つの仕掛けがあります。ひとつは発見・体験いっぱいの常設展示。五感に訴える多彩な展示で、理数の原理や法則を理解します。もうひとつは、さまざまな分野の専門講師が理数の魅力を伝授する、体験型のワークショップです。

ワークショップでは、スコープを手作りして自然を観測したり、数学パズルに挑戦したり、サイエンス演芸や数学マジックがあったりなど、理科や数学への興味がどんどん膨らんでいくように工夫されています。

「リスーピア」で、たくさんの理数大好きっ子が育つことを願っています。

リスーピアのナビゲーターや、外部の専門家によるワークショップを開催しています。

パナソニック・スクール

主催、社員参画　チェコ

「パナソニック・スクール」は、パナソニックAVCネットワークス チェコ㈲がチェコ政府などの支援を受けて2005年10月に開校。電機メーカーに必要な技術や生産管理、品質管理などを2年間にわたり体系的に学ぶことができる教育システムです。

京都市スチューデントシティ・ファイナンスパーク

協賛　日本

小中学生が社会のしくみや経済の流れを学び、生活設計力を養う「京都まなびの街 生き方探求館」に、街の電器屋さんを出店しています。

復旦大学「パナソニック講座」

寄付　中国

中国の将来を担う若手経営人材の育成に貢献することを目的とした講座。松下電器が資金を寄付して設立され、累計受講数は13,000人を超えています。

子ども

学校建設と文房具寄贈

協賛:寄付・製品寄贈　タイ

パナソニック・シュー販売タイ㈱は、タイで75校の学校建設に貢献しています。現在は、これらの学校に対し教育機器としてテレビ、DVDレコーダー、ミニコンポ、文房具などの提供や、校舎補修などの支援を行っています。

環境演劇

主催　日本

演劇を通し子どもたちに環境問題を学んでもらう学習プログラム。劇団衛星、NPO法人JAE(日本教育開発協会)の協力のもと、小学生が台本づくりからお芝居の発表まで取り組みます。

パナソニックわくわく体験ディスカバリー

主催　日本

子どもを対象にした芸術文化体験型ワークショップ。伝統工芸のプロの講師を迎え、自ら作品づくりに挑戦します。

若手映画人を対象にしたワークショップ

協賛:機材提供　韓国

パナソニック韓国㈱は、アジア・フィルムアカデミーを支援。アジア圏の映画産業を活性化することを目的としたワークショップへの技術指導と機材提供を行っています。

学生による学生のためのコンサート

協賛:寄付　日本

2002年より㈶日本交響楽振興財団が主催するこのコンサートを支援。音大生に演奏の場を提供し、中・高校生に本物のクラシックに親しんでもらい、鑑賞マインドを育てています。

学生向けの工場見学ツアー

主催　メキシコ

パナソニック メキシコ㈱では、小学生から大学生までを対象に工場見学ツアーを実施。子どもたちの好奇心を育てる機会を提供しています。

NPOインターンシッププログラム

協賛 日本

大学生にNPOでの仕事体験や仲間とともに考え自己成長する機会を提供。NPOサポートセンターとNPO支援センターちばの協働事業を支援しています。

おもちゃの寄贈

施設提供、寄付、社員参画 アメリカ

パナソニック ノースアメリカ㈱では、クリスマスなどにニュージャージー州の子どもたちにおもちゃを寄贈。おもちゃは地元の病院にある基金を通し、子どもたちに渡されます。

ドリカムスクール

共催、社員参画 日本

子どもたちに「働くこと」について考える機会を提供するプログラムを、NPO法人JAE、大阪商工会議所との協働で実施。松下グループの社員が「ユニバーサルデザインの商品を企画しよう」という内容で、授業を行いました。

パナソニック 子供のためのシェイクスピア ツアー

主催、協賛、社員参画 日本

子どもから大人まで誰もが楽しめる「シェイクスピア劇」を毎年夏に全国各地で開催。身近に舞台に触れる機会としてワークショップなども提供しています。

社員の体験談

子どもたちと一緒にモノづくりの楽しさを共有 かわいい笑顔が最高のご褒美!

末次 和代さん

2006年に大阪府守口市で開催した『第4回パナソニックキッズスクール電池&バレーボール教室』を企画しました。新しい発見に驚き、学びながらモノづくりに励む子どもたちと一緒に、私自身も新鮮な気持ちで司会に取り組みました。なかでも感動したのが、「世界でひとつしかないオリジナルの乾電池」で豆電球を一斉に点ける点灯式。最後に子どもたちが「ありがとう! 楽しかった!」とかわいい笑顔で伝えに来てくれた時は胸がいっぱいに。これからもたくさんの笑顔が引き出せる企画をしようと、次回への意気込みを新たにしました。

Close Up

地域の人々と、ともに行う緑化活動

工場構内から周辺、地域に広がる緑地・憩いの場づくり

パナソニック オートモーティブシステムズ社では、全国の松下電器グループの工場構内や工場周辺での植樹活動「共存の森づくり」と、自治体と協力して地域の緑化を進める「地区貢献活動」の2つの取り組みを行っています。

佐江戸町、松本、魚津など全国各地で行われる植樹には、社員はもちろん、社員の家族や地域からも多くの人々が参加しています。

「共存の森づくり」では、これまでに19の事業所が構内や工場近隣での植樹活動を実施。また「地区貢献活動」では、17の自治体の緑化活動を支援してきました。

長野県の植樹祭に協賛。社員も参加し、親子で仲良く苗を植える姿も見られました。

環境

「人類と地球環境との共存」を目指し、豊かな環境を守り継ぐための多彩な取り組み。多くの社員も参加しています。

ECOS環境財団

協賛:製品提供 フィリピン

パナソニック マニュファクチャリング フィリピン㈱は、オゾン層をテーマにしたECOS環境財団主催の移動展示活動にDVDプレーヤーやテレビを提供しています。

アースデイ クリーンアップ

寄付、社員参画 アメリカ

パナソニック ノースアメリカ㈱は毎年「アースデイ」に合わせ、ニュージャージー州にあるハッケンサック川の清掃を、環境保全団体「ハッケンサック・リバーキーパー」と協力して行っています。

植樹祭協賛やホタル再生計画 家族で楽しめる地域の活動

長野県植樹祭への協賛には、植樹費用の寄付に加え、予想を上回る数の社員ボランティアが参加。集まった1200人の県民の皆さんに交じり、親と子どもとの3世代で参加し、仲良く苗を植える社員の姿も見られました。

またパナソニック モバイルコミュニケーションズ㈱は、近くの都田西小学校で体験学習としてホタルの幼虫を育ててもらっています。地域の「佐江戸せせらぎ水辺愛護会」と連携して会社の前を流れる小川の清掃活動を行い、ホタルを呼び戻そうとしています。

地域の人々が参加することで、子どもからお年寄りまでみんなが安らぎ、緑に心癒される、地域全体にとっての「憩いの場」づくりを目指す。そんな松下電器グループの緑化活動の輪は、どんどん広がっています。

半導体社・魚津の「共存の森づくり」。

ホタルの幼虫を放流している都田西小学校の子どもたち。

植樹祭に参加した社員家族。子どもにとっては楽しい土遊びです。

マレーシア 珊瑚礁、海の保全活動

主催、社員参画 | マレーシア

パナソニック マレーシア㈱では、新たな珊瑚礁を育てるなどの海の保全活動を行っています。地元で、子どもたちに環境について学ぶ機会を提供し、最後に子どもたちが理解したことを発表しました。

アマゾン マナウス 植樹活動

協賛:寄付、社員参画 | ブラジル

マナウス市の植樹キャンペーンに参加したパナソニック ブラジル㈲は、オイティスの木を2,500本寄贈。植樹活動にも社員が参加し、マナウス東部の道路沿いや庭園に植えられました。

環境

学校林プロジェクト

協賛:寄付、社員参画 日本

荒廃した学校林を整備し、子どもたちが安全にかつ安心に、森に入れる環境を作り、環境保護・保全の大切さを学ぶプログラム。学校林という生きた教材の中で学ぶことで、子どもたちの環境意識を高め、健全で豊かな心を育成することが目的です。

森の聞き書き甲子園 映像化プロジェクト

協賛:寄付・機材提供 日本

「森の聞き書き甲子園」に参加した高校の卒業生たちを中心に、再度森の名手・名人を訪ね、森と関わる知恵や技術を映像で記録しています。

唐山市栄華道小学校への「環境教育基金」

協賛:寄付 中国

パナソニック溶接システム唐山㈲は環境教育用の設備購入のために、5万人民元をモデル校に寄付しました。

広州開発区植樹活動

協賛:寄付、社員参画 中国

パナソニック・万宝コンプレッサー広州㈲では広州科学城における植樹活動に多くの社員が参加しました。広州開発区に3万人民元を寄付し、“地球環境と共存する”記念碑が立てられました。

使用済み電気製品回収イベント

共催、社員参画 アメリカ

パナソニック ノースアメリカ㈱では使用済み製品や携帯電話を寄付し、災害時の緊急連絡用に配布しています。

松下グリーンボランティア倶楽部（MGV）

社員参画 日本

約7万人の社員、組合員、退職者の寄付と会社のマッチング寄付により設立。森林や緑地公園の保全活動、海岸・河川敷や地域のクリーンアップ運動、研修・啓発活動を行っています。

LE（Love the Earth）活動＝地球を愛する市民活動

社員参画 日本

LE活動は「企業人であると同時に一人の家庭人、社会人として環境に配慮できる市民であること」を目指し、従業員とその家族のエコライフ実践を支援する活動として1998年にスタートしました。エコライフ実践の内容を8つの項目で定義して、行動の指針としています。

❶ エネルギーを節約しよう
❷ 買い物にはエコバッグを持っていこう
❸ 食生活でエコをしよう
❹ 環境に配慮したモノを選ぼう
❺ モノを大切にして長く使おう
❻ ゴミを出さずにリサイクルしよう
❼ 環境への影響が少ない交通手段を選ぼう
❽ 環境ボランティアに参加しよう

省エネ生活を楽しく気軽に続けられるように作成した環境家計簿には、社員約47,000世帯で取り組んでいます。

リサイクル活動

社員参画 イギリス

パナソニック コミュニケーションズ イギリス㈱は、きれいな廃材等を学校の芸術教育活動に寄付。この地域でのリサイクルに対する取り組みが認められ、2004年11月のイギリスセバーンサイド社主催のリサイクル賞において、3部門で表彰されました。

世界自然・野生生物映画祭

協賛:寄付・機材提供 日本

2年に1度、富山県で開催されている世界三大野生生物映画祭のひとつ。松下電器では、映画祭で使用する映像機材を提供しています。

社員の体験談

地域の名所として愛される森づくりに社員と地域の方々が一緒に取り組んでいます

高橋 洋介さん

横浜市佐江戸町での「共存の森づくり」は、四季の花を楽しむことができるようにすることと、社員と地域の方々がともに活動できることにこだわって緑化活動を始めました。町内会の方々はこの森を地元の憩いの場と考えてくれていて、自主的に花壇に花を植えたり、草取りなどをされています。私たちも一緒に活動の輪を広げ、地域の名所として愛される森を育てていきたいと思っています。

Close Up

病院や養護施設の子どもへの支援

子どもたちの幸せを願い さまざまな活動を展開

モスクワに本拠を置くパナソニックCISは、毎年、病院や養護施設で過ごす子どもたちと一緒に数々のイベントを開催しています。

2006年のイベント運営や子どもたちのエスコートには、社員がボランティアで参加しました。これまでに、多くの子どもたちが楽しいひと時を過ごしています。

チャリティーコンサートにて。子どもたちが、笑顔いっぱいの時間を一緒に過ごしました。

福祉

年齢、性別、国籍、人種、民族、
生活上のさまざまな障害など、
一人ひとりの多様性を尊重する
共生社会の実現を目指しています。

岡山吉備高原車いすふれあいロードレース

協賛:寄付、社員参画 | 日本

車いすと一般のランナーが同じコースを走り、ともに競い、称えあいながら交流を深める大会。この事務局を、吉備松下㈱が担当しています。

身体障害者の就業促進

主催 | 中国

中国の在華松下グループは、「平等、参与、共有」を基本理念に、身体障害者の就業促進に努めています。2006年度は約300名の身体障害者を採用しました。

2006年12月に、モスクワ市内の4つの病院を訪れた青いサンタクロース。子どもたち全員に、祝福とプレゼントを贈りました。

コンサートを楽しんだり サンタクロースと遊んだり

2006年10月には、入院している子どもたちのため、プーシキン美術館においてチャリティーコンサートを開催しました。コンサートを楽しむだけでなく、病院内で交流をする機会の少ない子ども同士が一緒に遊んだり、話をしたりして親交を深める機会にもなりました。

12月にはモスクワ市内の4つの病院を訪問、新年のお祝いを届けました。サンタクロースも登場し、子どもたちにプレゼントを渡して、楽しいパフォーマンスを繰り広げます。病院内は笑顔で溢れ、お祭りムードに包まれました。

そのほかにも養護施設の子どもたちのためのコンサートを、名門チャイコフスキーコンサートホールで開催し、子どもたちは一流オーケストラの生の演奏の迫力を体感しました。またその演奏で感じたことを思いのまま絵に表現しました。

癌の子どものための寄付

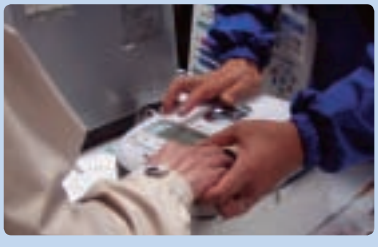
協賛:寄付 | オーストリア

パナソニック オーストリーは、癌の子どもたちを支援するプロジェクトに寄付をしています。2006年は5,000ユーロを寄付し、プロジェクトの代表者から礼状をいただきました。

日本ライトハウス展／「サイトワールド」展に出展

協賛:寄付、NPO支援 | 日本

視覚障害者向けの用具・電子機器展である日本ライトハウス展、「サイトワールド」展に当社も出展しています。直接製品に触れていただきご紹介しながら「人にやさしいものづくり」の実践に向けて、点字・音声取扱説明書や商品開発に取り組んでいます。



福祉

フィーリングアーツ

協賛:製品寄贈、NPO支援　日本

心を癒す効果があると言われる、現代美術作家・北村義博氏の未来派アート。子ども養護施設、病院や海外の被災地での公演を支援しています。

啓発人形劇プロジェクト

協賛:寄付、社員参画　日本

NPO法人 難病のこども支援全国ネットワークによる、病気や障害のある子どもへの理解を促す人形劇を支援。小学校などへの上演に社員ボランティアが参加しています。

難民アシスタント養成講座

協賛:寄付・施設提供　日本

NPO法人難民支援協会が主催する日本国内の難民理解を深めるための講座に、パナソニックセンター東京を提供しています。

KIDS プロジェクト

協賛:寄付・施設提供、社員参画　日本

障害のある子どもたちと東京ディズニーランド(TDL)で一日を過ごすプロジェクト(NPO法人 KIDS主催)に、社員ボランティアが多数参加。またTDLのパナソニックラウンジを子どもたちの休憩場所や運営本部として提供しています。

わたぼうし音楽祭

協賛:製品寄贈　日本

奈良たんぽぽの会、㈳日本青年奉仕協会主催の、障害のある人たちに対する理解を深めるための音楽祭を支援しています。

ツイン21チャリティーコンサート

主催、社員参画 日本

社員ボランティアの運営による手づくりのコンサートを、大阪ビジネスパーク ツイン21を会場にして毎年開催しています。会場ではチャリティーを募り、障害のある人々の芸術活動を支援する「松下電器 ハートフルメセナ基金」の財源としています。

日本点字図書館への支援

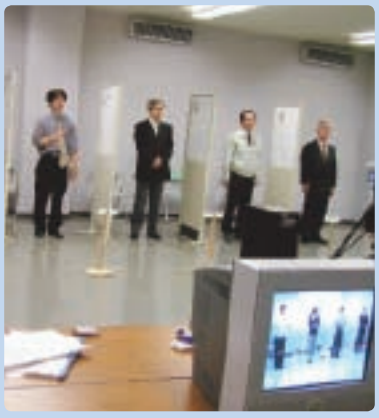
NPO支援 日本

視覚障害者に点字図書や録音図書を貸し出す活動を展開している（社福）日本点字図書館。松下電器は録音図書を聴くための視覚障害者用テープレコーダーを開発し、30年以上にわたって読書する喜びを届けています。また、同館主催のチャリティー映画会も支援しています。

手話通訳技能認定試験の運営サポート

協賛:機材・施設提供 日本

毎年、東京と大阪で開催される手話通訳技能認定試験に、松下電器はAV機器などの試験機材を提供しています。



社員の体験談

「日本ライトハウス展」で触れ合った方々の声を豊かな生活をかなえる商品づくりに生かします

田中 悦子さん

目が見えない方、見えにくい方のためのさまざまな機器やサービスの展示を行う日本ライトハウス展に参加してきました。パナソニックセンター大阪内のブースでは、視覚障害を持った方を含めたユーザーに電子オーブンレンジやおしゃべりエアコンリモコン、FAX、視覚障害者用テープレコーダーなどを実際に使ってもらい、貴重な意見や感想を聞きます。私もユーザーの声に直に触れたことでお客さまの生活を具体的にイメージすることができました。この経験を生かし、より使いやすい商品づくりに貢献していきたいと思っています。

メセナ活動／ボランティア活動支援／NPO･NGO支援

みんながともに元気になるようにとの思いを込めて、さまざまな分野で企業市民活動を展開しています。
子ども、環境、福祉の分野はもとより、心を豊かにする芸術分野への支援やNPO･NGOへの支援、
社員のボランティア･市民活動を支えるためのプログラムなども用意しています。

パシフィック･ミュージック･フェスティバル（PMF）

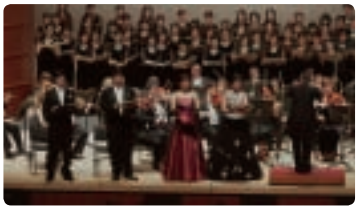
協賛:寄付 | **日本**

1990年に故レナード･バーンスタインが創設した音楽祭。世界各地から選ばれたアカデミー生を札幌に集め、著名音楽家がレッスンを行います。松下電器は、参加者で結成されたPMFオーケストラが日本各地で開催する演奏会を支援。2003年から大阪公演を特別協賛しています。

ニューヨーク･シンフォニック･アンサンブル（NYSE）公演

主催、社員参画 | **日本**

世界的に有名なニューヨーク･フィルハーモニックとメトロポリタン･オペラ･オーケストラの有力メンバーを中心に編成されたNYSE。若手音楽家を育成する目的で、毎年夏、コンサートツアーを日本各地で開催しています。松下電器はその一部を主催、ライブ録音したCDやDVDも制作しています。



日本の伝統工芸の振興

協賛:寄付 | **日本**

創業者松下幸之助は伝統工芸に深い関心を持ち、1960年に日本工芸会近畿支部長に就任。以降、松下電器は日本の伝統工芸文化の継承･振興を願って支援を継続しています。陶芸･染織など7分野の作品が集まる「日本伝統工芸展」では、優秀な成績を収めた地元の作家や新進作家に「松下賞」を提供。

国際音楽祭ヤングプラハへの協賛

協賛:寄付 | **チェコ**

ヤングプラハ音楽祭は、日本とチェコの共同文化活動として、世界の若手音楽家が、毎夏チェコに集まり各地のすばらしい環境の中でオーケストラ、室内楽、ソロ、合唱付など多彩なコンサートを開催しています。松下電器はメインスポンサーの1社として1997年より支援しています。

ボランティア･市民活動資金支援プログラム

1998年に、社員やその家族、定年退職者が行っているボランティア活動や市民活動に対し、活動資金の一部を支援する制度を設けました。対象は継続的に活動している非営利団体（NPO）。社員の積極的な社会参画を推進し、その活動の支援を通して社会に貢献しています。2006年度までに589プログラムに対し、総額1億3,174万円の支援をしました。

Panasonic NPOサポート ファンド

より良い社会づくりに向けて、NPOの果たす役割が益々重要になってきています。松下電器はNPOの組織基盤の強化を応援することでNPOが本来持ちうる力を最大限に発揮し、より良い社会づくりに貢献できることを願っています。

「Panasonic NPOサポート ファンド」は、子どもと環境の分野で社会課題の解決に取り組むNPOが安定した活動を継続できるように、団体の組織基盤の強化を資金面で応援するとともに、事業相談に応じ、ノウハウシェアリングの場を提供するなど、総合的にサポートしています。

2006年度は、全国290団体からの応募があり、子ども分野で活動をする12団体、環境分野で活動をする9団体、合計21団体に2,795万円を助成しました。

助成決定団体が集まり贈呈式を開催

助成事業期間中に中間報告会を開催

選考を終えて

環境分野選考委員長 **川北 秀人**氏
IIHOE［人と組織と地球のための国際研究所］代表者

NPOの皆さまには、思いついたことを実行し継続することだけが大切なのではなく、「なぜこのような現象が起きているのか」という原因・背景の確認と、今後の見通しに基づいて、「どう続けていくべきか」を冷静に確認することが大切です。その際に、内側からの視点や努力だけでなく外側からの視点や支援も大切です。

組織も、ひとつの生態系です。その健康を維持し続けるための取り組みにも、具体性と合理性が重要であることを再確認され、限られた資源を最大限に生かした活動を続けられることを、心から期待申し上げます。

助成を受けて

NPO法人 つくば環境フォーラム 代表理事 **田中ひとみ**氏

助成を受けたのは設立2年後のこと。事業展開のためにも組織基盤を整えなくてはならないという意識から応募しました。助成金はパンフレット作成やホームページ改訂、経理体制の整備など活動の足場を固めることに充当し、事務局の方々とは折に触れてコミュニケーションを深めることができたので、私たちを見守り、応援してくれているという実感がありました。

現在は当時の事業に加え、新たに3事業を展開し、参加者や会員も増えました。私たちの活動に関わってくれる人的財産が私たちの支えです。今後、サポートファンドを通じて得た新たな出会いからパートナー事業を創出できたらすばらしいですね。

Panasonicハートフルクラブ

カフェテリアで、いつでも気軽に寄付できる新提案。社員の社会貢献活動への参加機会を拡大!

社員の社会貢献活動に関する意識調査で、多くの社員が社会貢献活動に参加したいと思いながらもきっかけを得られずにいることがわかりました。そこで松下電器は2006年度、社員向け福利厚生のシステムであるカフェテリアプランのメニューのひとつとして、「Panasonicハートフルクラブ」を新設。社会貢献活動を行うNPO等の団体へ簡単に寄付できるようにしました。

寄付先は子ども・環境・福祉の分野で活動している団体から選定し、「セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン」「国境なき医師団」など7団体を応援しています。

Panasonic ハートフルクラブ

ここでも、私たちは繋がっています

地球レベルでの共生が求められる現代において、松下電器グループは、グローバルな企業市民としての
社会的責任を果たすため、ほかにもさまざまな社会貢献活動に取り組んでいます。
社会全体が元気になるよう、幅広く人材育成活動に取り組み、また積極的に災害支援も行っています。

奨学金制度

パナソニック スカラシップ

1998年発足の奨学金制度。21世紀のアジアをリードする人材の育成と、日本とアジアの友好親善を目的とし、アジア諸国から日本の大学院修士課程に留学する私費留学生を、経済的に支援。2007年4月現在、244名を奨学生として認定しています。

財団

松下電器は早くから財団を設立し、教育・奨学金支援、学術功労顕彰など、幅広く人材育成活動に取り組んでいます。これらの団体は、今日も社会にとってなくてはならない存在として、各界の多くの人々に支えられ日々活動を展開しています。財団法人 松下教育研究財団をはじめ、国際科学技術財団、松下国際財団、松下幸之助花の万博記念財団、霊山顕彰会、神道大系編纂会、松下政経塾があります。

財団法人 松下教育研究財団

1973年に視聴覚教育の振興・普及を主な目的として設立。豊かな人間育成に貢献するために、情報・視聴覚教育、メディア教育の振興等、幅広い活動を行っています。

こころを育む総合フォーラム

現代社会における「こころを育む」環境づくりに取り組むため、広く意味ある提言をおこなっていきたいという趣旨で設立されました。遠山敦子松下教育研究財団理事長（元文部科学大臣）の呼びかけで、経済界、学界をはじめ、民間における各方面の専門家が結集して討議を続け、提言にまとめ発表しました。

インドネシア・ジャワ島中部地震の被災者・被災地支援

2006年5月のインドネシア・ジャワ島中部地震では、被災者救済や、被災地の復興に役立てていただくために、グローバルに義援金募金を実施。会社のマッチング額を合わせ、総額4,595万円を支援しました。また、インドネシアにある松下電器グループより、乾電池2万個、懐中電灯500本、ラジオ2,000台、テレビ50台（総額700万円相当）の救援物資を支援しました。

最近の松下電器グループの主な社会貢献活動

欧州・中近東・アフリカ

【子ども】

パナソニック・スクール
キッド・ウィットネス・ニュース・プログラム（KWN）
大学へのコピー機寄贈

【環境】

リサイクル活動

【福祉】

病院や養護施設の子どもへの支援
癌の子どものための寄付

アジア

【子ども】

学校建設と文房具寄贈
キッド・ウィットネス・ニュース・プログラム（KWN）
パナソニック スカラシップ
復旦大学「パナソニック講座」
若手映画人を対象にしたワークショップ
小中学校への視聴覚機器の寄贈

【環境】

ECOS環境財団
マレーシア 珊瑚礁、海の保全活動
ワールド・ソーラー・チャレンジ支援
唐山市栄華道小学校への「環境教育基金」
広州開発区植樹活動

【福祉】

障害者の就業促進、社会福祉施設支援
孤児院、養老院への支援

北米

【子ども】

若手音楽家への支援（パナソニックハーモニーシリーズ）
キッド・ウィットネス・ニュース・プログラム（KWN）
おもちゃの寄贈

【環境】

アースデイ クリーンアップ
使用済み電気製品回収イベント

中南米

【子ども】

学生向けの工場見学ツアー
キッド・ウィットネス・ニュース・プログラム（KWN）

【環境】

アマゾン マナウス植樹活動

【福祉】

貧困地区の小学校への製品寄付
癌の子どもたちを支援

日本

【子ども】

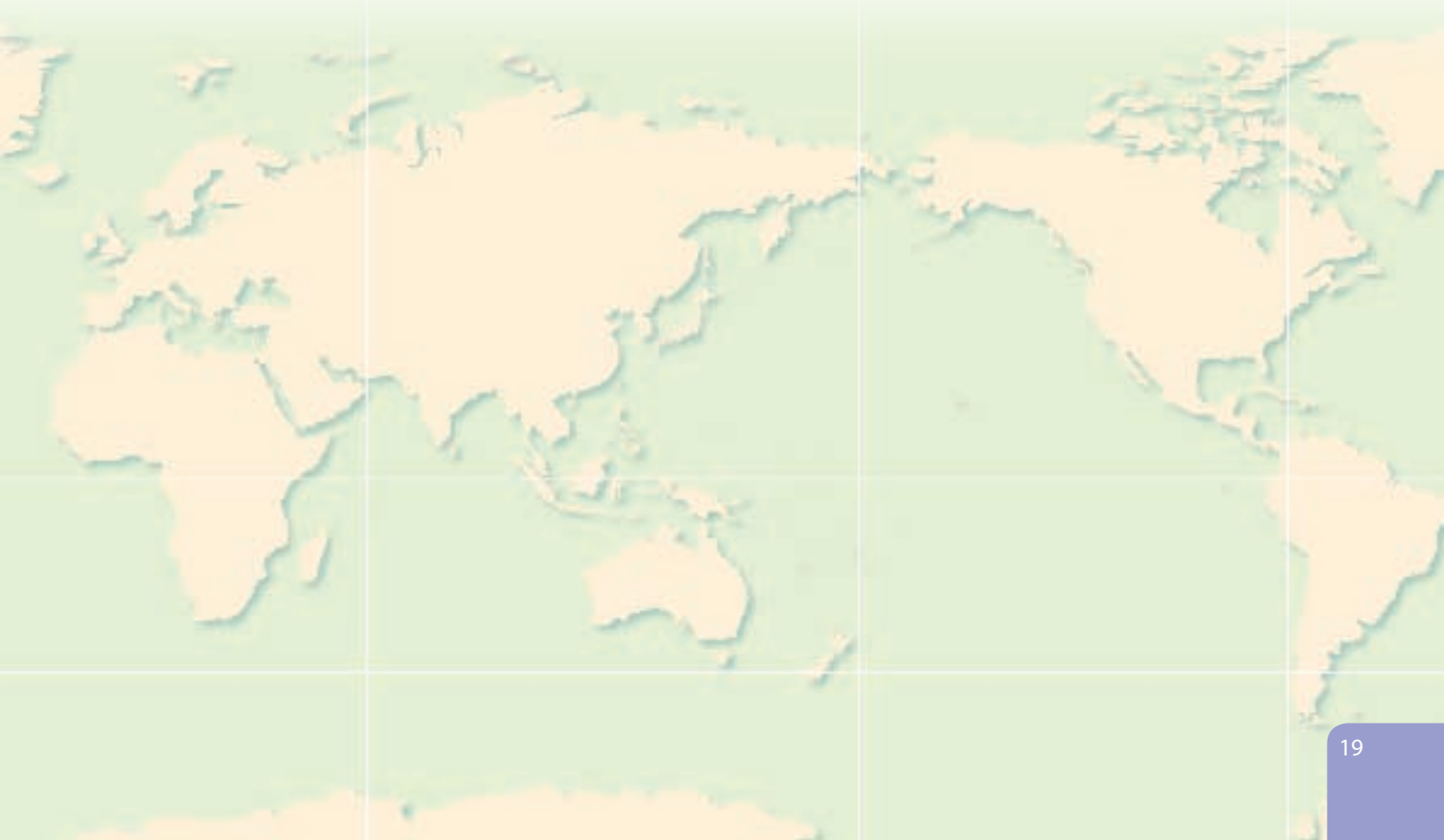
パナソニック キッズスクール
京都市スチューデントシティ・ファイナンスパーク
環境演劇
パナソニックわくわく体験ディスカバリー
学生による学生のためのコンサート
ドリカムスクール
パナソニック 子供のためのシェイクスピア ツアー
NPOインターンシップ プログラム
キッド・ウィットネス・ニュース・プログラム（KWN）

【環境】

緑化活動
森の聞き書き甲子園 映像化プロジェクト
学校林プロジェクト
松下グリーンボランティア倶楽部（MGV）
世界自然・野生生物映画祭
LE（Love the Earth）活動＝地球を愛する市民活動

【福祉】

岡山吉備高原車いすふれあいロードレース
日本点字図書館への支援
ツイン21チャリティーコンサート
啓発人形劇プロジェクト
KIDS プロジェクト
フィーリングアーツ
手話通訳技能認定試験の運営サポート
わたぼうし音楽祭
難民アシスタント養成講座
日本ライトハウス展／「サイトワールド」展に出展



Panasonic
ideas for life

■表紙の写真

キッド・ウィットネス・ニュース・プログラム（KWN）（P.4）	パナソニック キッズスクール（P.4）
	緑化活動（P.8）
環境演劇（P.6）	病院や養護施設の子どもへの支援（P.12）
学校建設と文房具寄贈（P.6）	

GPN Green Purchasing Network 印刷サービス
印刷サービスのグリーン購入に取り組んでいます

Waterless Printing. Naturally.

PRINTED WITH SOY INK
Trademark of American Soybean Association

R100

ホームページ

松下電器グループの企業市民活動

http://panasonic.co.jp/csr/social/cca/index.html

松下電器グループの社会貢献活動レポート

http://panasonic.co.jp/cca/

お問合せ先

松下電器産業株式会社

社会文化グループ

■本社:〒571-8501　大阪府門真市大字門真1006
電話（06）6909-6700（直通）

■東京:〒105-8581　東京都港区芝公園1-1-2
電話（03）6403-3140（直通）

発行:2007年8月